



日中は汗ばむほどの季節となりました。保護者の方々も子ども達も新しい環境の中での落ち着かない日々を過ごされたかと思います。朝晩の気温差がまだ激しい時期です。体調管理に気を付けていきましょう。

さて、平成21年9月に開設した病児室「ドリーム」は8年目を迎えることができました。利用者数も年々増加し、平成28年度には延べ774名のご利用がありました。これからもさらに研鑽し、保護者の皆さまに安心して「実家に預けるような気持ち」で預けていただけるような病児室を目指していきます。今年度もよろしくお祈りいたします。

平成28年度ご利用状況から



☆市町村別の利用者数☆

昭和町 541人 (70%) 中央市 118人 (15%) 甲府市 38人 (5%)
甲斐市 27人 (3%)

☆年齢別の利用者数☆

0歳児 25人 (3%) 1歳児 221人 (30%) 2歳児 181人 (23%)
3歳児 122人 (16%) 4歳児以上 230人 (30%)

28年度は例年通り母親の職場復帰と共に、1歳児さんの利用数が多く見られました。また、町外の方の利用が多くなりありがたく思います。4歳児以上の利用も増え、小学生の利用も多かったです。幅広い年齢のお子様にご利用して頂きました。ありがとうございます。

病児保育室ドリームってどんな所？

*ご利用するには事前に登録が必要です。昭和町にお住まいの方、在勤の方は役場福祉課で、それ以外の方はげんきキッズクリニックにて登録をお願いします。

*お子様の病状や月齢に合わせて 午前遊び → 11時半ごろ昼食 → 15時おやつ → 夕方5時までのお預かりとなります。

(詳細につきましては「病児保育室ドリームのご案内」を参照してください)

園や学校の検尿は大切！

学校検尿は昭和49年から始まり、現在3歳児検診、園、学校で定期的に行なわれ、主に腎炎の早期発見に役立っています。腎臓病についての治療や管理の方法が進歩したことで、早期に発見された腎炎は多くが治療可能で、腎炎の予後が改善しています。平成11年の調査で、学校検尿を受けた世代の新規透析導入患者数が減少したという結果が発表されています。早期発見のためにも検尿は大切なんですね。(ちびっこぷれす2017年2月号 Dr.宮本の連載より引用)

最近の病児室で

同室に1歳と4歳の女の子が利用の際、4歳の女の子が看護師からお薬を上手に飲むと「私も」と言わんばかりに大きな口を開けて待っていた1歳の女の子。お互い良い刺激となったようです。かわいい様子に保育士も笑顔になりました。



病児保育室 ドリーム

山梨県中巨摩郡昭和町河東中島748-1

TEL:055-268-5578 FAX:055-268-5598

<http://www.genki-kids-clinic.com/>

ホームページより各種用紙(登録申込書・利用申込書・連絡票)がダウンロードできます